



竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

だれひとり命を落としてはいけない

1年生が凧あげを。冷たい西風に乗って青空に舞い上がりました。飛びすぎて高根山の高さを超えた？子、糸が絡まってほどくだけで終了の子、様々な経験から風のエネルギーを学んでいます。



さて、1月29日（水）に予告なしで地震を想定した避難訓練を実施。お昼の休み時間に「訓練地震、震度3、17秒後、ビー、ビー・・・」と訓練警報が。シェイクアウトの姿勢、安全確認の放送後に運動場へ避難しました。左下のよう南海トラフ地震の発生確率が引き上げられ、13日（金）夜、今年度2回目の地震臨時情報が出されるなど、いつ地震が来てもよいよう備えておく必要性が高



まっています。今回の訓練から再度23日（木）の打合せ、本日の放送集会で、17秒間でできることを話しました。

- 上の子は周りを見て下の子に「大丈夫だよ」と声かけ
- 塀、ガラス、木々、建物から離れる（手を引いて誘導）
- 廊下なら中央や他の教室の机の下へ、運動場なら地割れなど周りの状態を見て、一緒にシェイクアウトで頭部保護

移動の際にも、走らず周りを確認しながらけがをしないようにゆっくりと、と伝えました。



29日（水）6年1組にて鈴木毅様を講師として平和学習を開催。1945年7月20日未明、岡崎市の大規模空襲で焼夷弾の雨に。その時、小学校低学年だった方々の生の体験談を録音したものを聞かせていただきました。「戦争はもう二度とやってはいけない」「次世代に引き継ぐことが大切」「今が平和なことがすごいと改めて感じた」と竜美っ子。

避難訓練後に「だれひとり命を落としてはいけないね」と私に語った2年生。自分の命、仲間の命を必ず守ります。



南海トラフ地震三十年以内の発生確率引き上げ
「80%程度」一月十六日 東海NEWS WEB（抜粋・編集）
政府の地震調査委員会は南海トラフの巨大地震が今後30年以内に起きる確率について一月一日時点で改めて計算し、これまでの「70%から80%」を「80%程度」に引き上げ、公表しました。十三日に発生した日向灘の地震は影響しておらず、過去の巨大地震から時間が経過しているためだととして備えを進めるよう求めています。（略）
地震調査委員会の平田直委員長は「数字を丸めて表現すると70〜80%が80%になったので確率が10%上がったわけではない。一方で、いつ地震が起きても不思議はない数字であることには変わらない。引き続きいつ地震が来ても良いよう備えていただきたい」と話しています。